

令和5年度 第5回 越前警察署協議会 開催結果

1 日時

令和6年2月8日（木）午後3時30分から午後3時40分

2 場所

越前警察署 2階講堂

3 出席者

- (1) 協議会委員 5名
- (2) 越前警察署 署長以下10名

4 内容

- (1) 会長挨拶
- (2) 警察署長挨拶
- (3) 新人警察官自己紹介
- (4) 議事



ア 管内の治安情勢等

各課より各種取組状況の説明

イ 質疑・応答

【委員】

先日、警察が行っている「オブジェ」講習を受けたが、交通事故防止のためには大変有意義なものであると感じたので、管内の住民に向けてもっと広報をして欲しい。

【署長】

当署では頻回事故歴者などを中心にオブジェ講習受講の声掛けを行っている。また、管内で高齢者の従業員を多数雇用している事業所に対しても、受講の働きかけを行っている。

今後警察で幅広く広報していくことはもちろん、実際にオブジェ講習受講者による口コミ効果が広がっていくことにも期待をしたい。

【委員】

福井県は横断歩道を渡ろうとする歩行者がいても止まらない車が多く、全国ワースト3に入っていると聞いたが、運転者だけでなく道路を横断する歩行者側にも問題があると思う。今後警察が行う交通安全教育の場で、歩行者に対して道路の横断方法についてしっかりと教育をして欲しい。

【署長】

当署は他署よりも高齢者に対する交通安全教室の実施回数が圧倒的に多いが、実施回数が多ければ良いというものではないので、いかに効果的な内容の教室を行うか考えながら、適切な横断方法等について繰り返し教育を行い、周知を図っていく。

【委員】

冠山トンネルも開通したばかりだが、冠山トンネル内は不感地帯だと聞いている。冠山トンネルで交通事故が発生した場合には、どのように対処するのか。

【署長】

冠山トンネルについては、電波がほとんど届かない不感地帯となる。

岐阜県側と共同訓練を行っているが、岐阜県側からトンネル内にアンテナを差し込むと電波がつながるということが確認できた。

トンネル内には非常電話と非常通報装置が固定設置されており、交通事故が発生した時には、それらを利用して警察等に通報してもらうことになる。

【委員】

池田町内の交差点には一旦停止の標識が多く設置されているが、標識が小さく見えにくいと感じる。横断歩道に関しては、色を付ける等して目立つように工夫をしていると説明を受けたが、標識に関してもそのような対策が取れないか。

【署長】

標識については、コスト面からも小型化する傾向にあるが、今後開催予定である行政機関等との対策会議の中で、池田町の住民から標識大型化の要望が出ていることを伝え、検討する。

【委員】

3月の北陸新幹線開業に合わせて、越前市ではレンタサイクル事業を始めると聞いたが、利用者のヘルメット対策はどうするのか。また、利用者のサイクリングコースはどのように設定するのか。

【署長】

越前市では、既にサイクリングコースを設定しており、利用者に推奨コースを案内していると聞いている。今後、越前市と連携しながら必要な整備を進めていく。

また、ヘルメット対策としては、現状、利用者にヘルメットの着用を強制することはできないので、住民の皆様の手も借りて「周りが被っているから自分も被ろう」という気持ちにさせるような雰囲気作りも含めて、利用者に対し着用の呼び掛けを行っていく。

【委員】

武生西小学校周辺におけるゾーン30プラスという取組みについて説明を受けたが、そのような取組みをどんどん増やして欲しい。管内の郊外にある危険箇所においても、ぜひゾーン30プラスの取組みを行って欲しい。

【署長】

要望箇所全てにゾーン30プラスを設置するという事は難しいが、武生西小学校周辺での設置効果が確認できれば、行政機関等も他の場所における更なる設置を検討することになると思われるので、効果が確認されるまでもう少しお待ちいただきたい。